

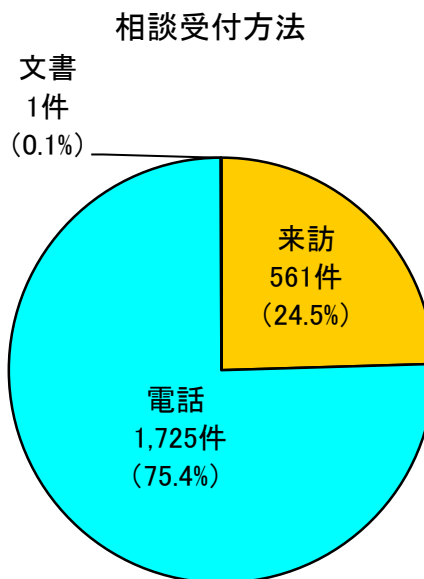
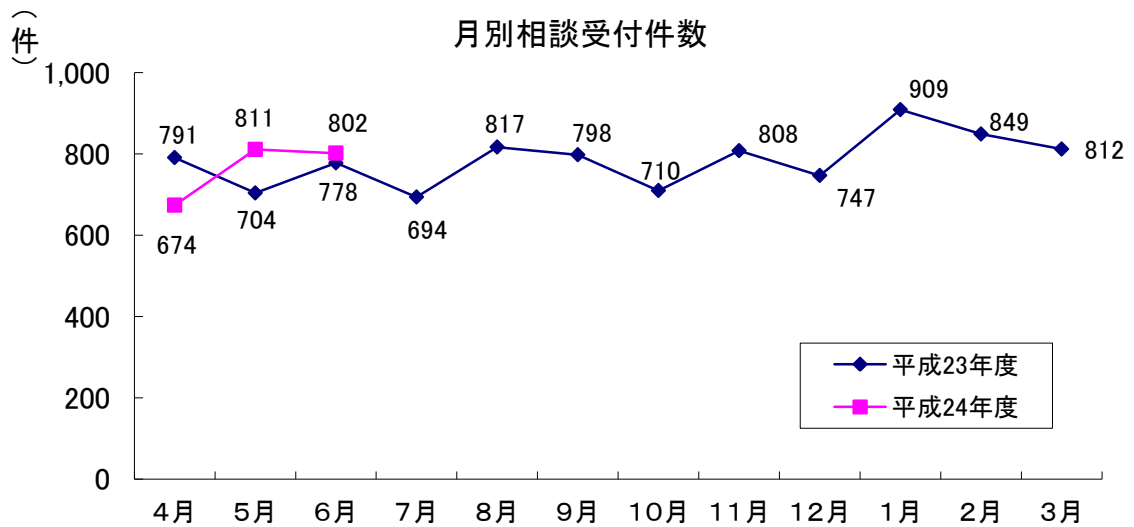
平成24年4－6月青森県内の消費生活相談状況

1. 平成24年4月－6月の状況

(1) 相談受付状況

県内の消費生活相談窓口で受付した件数は、苦情相談 1,850 件、問合わせ 437 件、合計 2,287 件であり、前年同期に比べ 14 件 (0.6%) 増加しました。 (単位：件)

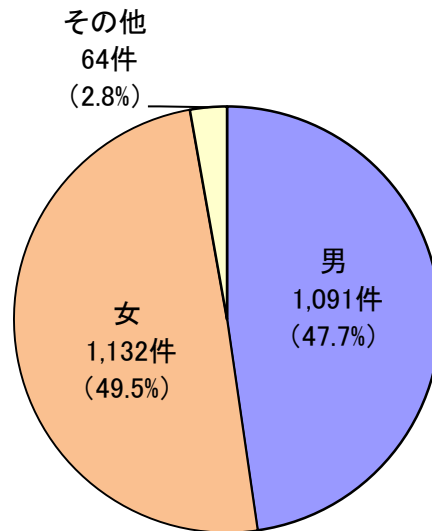
相談種別	年度 平成24年度 4－6月	平成23年度 4－6月	増減	(参考) 平成23年度
苦情相談	1,850	1,807	43 (2.4%)	7,594
問合わせ	437	466	▲29 (▲6.2%)	1,823
計	2,287	2,273	14 (0.6%)	9,417



(2) 契約当事者の状況

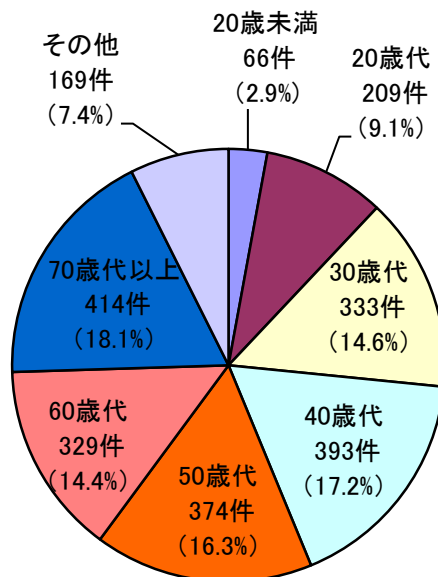
契約当事者の性別では、男性が1,091件、女性が1,132件となっています。

契約当事者の性別

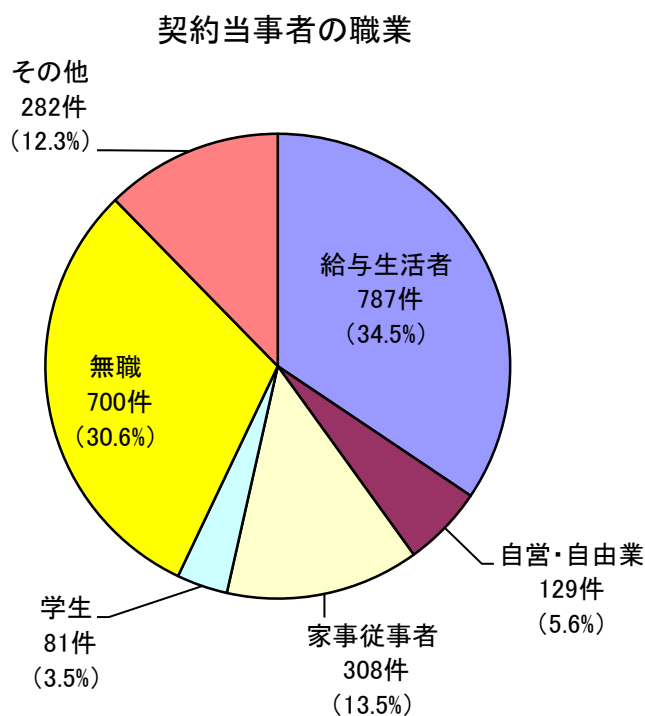


契約当事者の年代別では、70歳代以上が414件と最も多く、次いで40歳代393件、50歳代374件となっています。

契約当事者の年代



契約当事者の職業別では、給与生活者が787件で最も多く全体の34.5%を占めています。次いで無職が700件（30.6%）となっています。



(3) 商品・役務別の相談件数・内容

(単位：件)

	平成 24 年度 4－6 月	平成 23 年度 4－6 月	増 減	(参 考) 平成 23 年度
1 運輸・通信サービス	492	464	28 (6.0%)	1,974
2 金融・保険サービス	472	512	▲40 (▲7.8%)	2,022
3 教 養 娛 楽 品	143	127	16 (12.6%)	532
4 レンタル・リース・貸借	121	126	▲5 (▲4.0%)	456
5 商 品 一 般	116	149	▲33 (▲22.1%)	421
そ の 他	943	895	48 (5.4%)	4,012
計	2,287	2,273	14 (0.6%)	9,417

「運輸・通信サービス」492件は、前年同期464件と比較すると28件（6.0%）の増加となりました。最も多かった相談は、アダルト情報サイトや出会い系サイトなどの放送・コンテンツ等に関する相談388件で前年同期378件と比較すると10件（2.6%）の増加となっています。

「金融・保険サービス」472件は、前年同期512件と比較すると40件（▲7.8%）の減少となりました。最も多かった相談は、融資サービスの相談313件（66.3%）となっています。

「教養娯楽品」143件は、前年同期127件と比較すると16件（12.6%）の増加となりました。最も多かった相談は、犬や仏像などの他の教養娯楽品に関する相談37件で前年同期20件と比較すると17件（85.0%）の増加となっています。

「レンタル・リース・貸借」121件は、前年同期126件と比較すると5件（▲4.0%）の減少となりました。

「商品一般」116件は、前年同期149件と比較すると33件（▲22.1%）の減少となりました。

2. 平成24年4月－6月の特徴

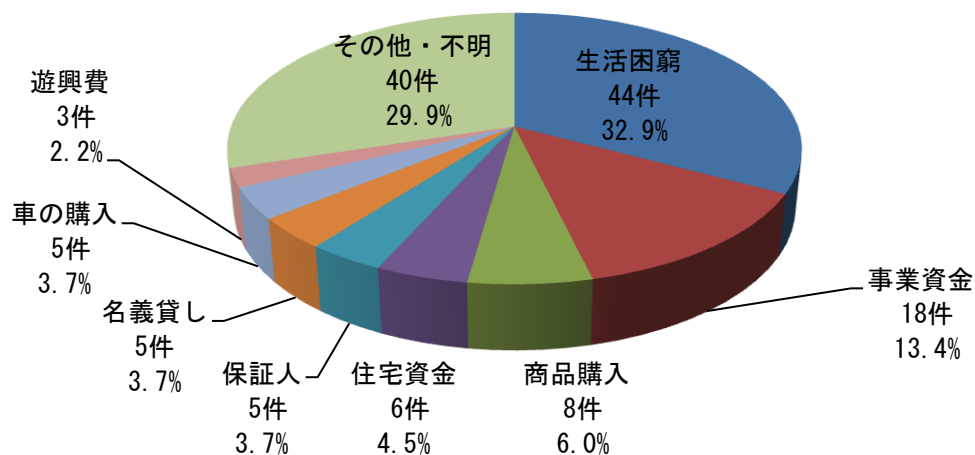
(1) 多重債務に関する相談が減少

(単位：件)

年度	平成24年度 (4-6月)	平成23年度 (4-6月)	増減	(参考) 平成23年度
多重債務	134	208	▲74(▲35.6%)	676
融資保証金詐欺	4	1	3(300.0%)	3
借金整理屋	1	3	▲2(▲66.7%)	5
ヤミ金	21	26	▲5(▲19.2%)	81
ショッピング枠 現金化	1	6	▲5(▲83.3%)	11

多重債務に関する相談134件は、前年同期208件と比較すると74件（▲35.6%）の減少となりました。ヤミ金に関する相談21件は、前年同期26件と比較すると5件（▲19.2%）の減少となりました。一方、前年同期1件だった融資保証金詐欺に関する相談は4件（300.0%）の増加となっています。

多重債務相談134件の借金のきっかけ



(2) 振り込み詐欺に関する相談が増加

架空請求 87 件は、前年同期に比較すると 57 件 (190.0%) の増加となりました。請求の手口として、携帯やパソコンのメールによるものが 56 件、ハガキ等によるものが 31 件となっています。(単位:件)

	オレオレ詐欺	架空請求詐欺	融資保証金詐欺	還付金詐欺	合計
H24 年度(4-6)	0	87	4	5	96
H23 年度(4-6)	0	30	1	0	31
増 減	—	57 (190.0%)	3 (300.0%)	5 (—)	65 (209.7%)

(3) 65 歳以上の高齢者の相談が増加

①商品・役務別の相談件数

契約当事者が 65 歳以上の相談 533 件は、前年同期 407 件と比較すると 126 件 (31.0%) の増加となりました。劇場型の詐欺的な金融商品に関する相談などを含む金融保険サービスや、書籍・印刷物や新聞などの相談を含む教養娯楽品に関する相談などのほか、商品・役務全般にわたって増加傾向にあります。(単位:件)

年 度		平成 24 年度 4 - 6 月	平成 23 年度 4 - 6 月	増 減	(参 考) 平成 23 年度
商品役務名					
1	金融・保険サービス	120	97	23 (23.7%)	471
2	商 品 一 般	50	37	13 (35.1%)	122
3	教 養 娯 楽 品	49	22	27 (122.7%)	125
4	食 料 品	42	32	10 (31.3%)	170
5	運輸・通信サービス	28	20	8 (40.0%)	89
	そ の 他	244	199	45 (22.6%)	1,052
	計	533	407	126 (31.0%)	2,029

②既払金額が急増

契約購入金額合計、平均契約購入金額は前年同期に比較すると減少していますが、既払金額合計および平均既払金額が急増しています。お金を支払ってしまったものを、商品・役務別でみると、金融・保険サービス、教養娯楽品、食料品、住居品、保健衛生品などとなっています。特に、金融・保険サービスの既払金額は 154,901 千円で、全体の 78.5%を占めており深刻な問題となっています。(単位:千円)

年 度	平成 24 年度 4 - 6 月	平成 23 年度 4 - 6 月	増 減
区 分			
契約購入金額合計	372,773	387,506	▲14,733 (▲3.8%)
平均契約購入金額	1,973	2,393	▲420 (▲17.6%)
既払金額合計	197,252	74,508	122,744 (164.7%)
平均既払金額	1,090	514	576 (112.1%)

③販売購入形態

高齢者の契約方法を販売購入形態で見ると、訪問販売や電話勧誘販売の契約の割合が高くなっています。

